



倉沢里山を愛する会会報  
NEWS LETTER No.105

2023年春号(4月1日発行)

発行責任者 田村はる子  
編集 集

〒191-0033

日野市百草698-6(田村)

TEL/FAX 042-592-5859

mail: info@alice-fm.info

URL: http://alice-fm.info

## 遙かな里山への思ひ

榎田 貴司

あれはもう50年以上も前のことです。5月の連休に電力会社勤務の父に連れられて、この地区にある東電学園に足を踏み入れました。もちろん勉強のためではありません。あふれるほどのわらび、ぜんまいを夢中になって採った記憶があります。山をおりて多摩川で魚を釣ったことも絵日記に書いたのを覚えています。

時は流れて20年前、会社の社宅として百草に住むことになった我が家族は、町内会の遠足で再び倉沢の地を踏むこととなりました。一面に整理整頓された畑を目の当たりにしてこんな素敵な場所がすぐ近くにあるんだ、ここで畑作業をできる人はなんて幸せなんだらうと思ったものです。バックの中をさつまいもとりんごでいっぱいにして山を下りたことも楽しい思い出です。

畑作業は早起きソフトボールチームの監督から畑を紹介されて始めました。全くの素人でしたが、意外と力強く成長する野菜を見るにつれ畑作業にのめりこみ、ソフトの練習後は必ず野菜の様子を見に行きました。仕事の関係で地方巡業中も途切れることなく野菜作りに精を出しました。

再び東京に戻り余裕もできたため、近場を散策する機会が増えました。倉沢地区を通った時、はるか昔の記憶がよみがえってきました。かすかに残る甘く幸せな記憶、50年来の恋人に出会った私は、会の看板を頼りにネットで検索し、すぐに入会させていただきました。

事務局の田村さんには、もう何十年も前からご一緒させていただいているように接していただき、当会の温かさを感じました。一番楽しみにしているのは自然を愛する皆様との会話です。いろいろなご経験を聞けるのをとても楽しみにしていますので何卒宜しくお願いいたします。



## 里山の植物誌(103)

ハハコグサ(キク科)



茎も葉も柔らかい毛が密生し、のびた先に頭花。1個1mmと7mmていどの花をつけます。花は果実期になるとほうけだすことから「ほうけぐさ」と呼ばれ、のちに転訛して「母子草」といわれるようになったのが植物観察上からは正しいようです。

ハハコグサ属はハハコグサを除き5月から9月が開花時期で、チチコグサ、タチチチコグサ、チチコグサモドキです。チチコグサ属は外来種が主で、ウラジロチチコグサ、ウスベニチチコグサ、タチチチコグサ、チチコグサモドキなどです。

ここで皆さんにいくつか問題を出してみます。皆さんが食べたり親しんでいる次の植物を「科」にわけてみましょう。

エノコログサ、ツルボ、ワレモコウ、アシタバ、ナズナ、ヒメムカシヨモギ、クズ、ハコベ、ヤブカンゾウ、ヘビイチゴ、イヌナズナ、シロツメクサ、チカラシバ、イヌムギ、ワニグチソウ、アシ、オニタビラコ、ノグシ、ワサビ、オランダミミナグサ、ミツバ、ハルジオン、レンゲ、ヒメシバ

セリ科  
キク科  
マメ科  
ユリ科  
ススキノキ科

アブラナ科  
ナデシコ科  
イネ科  
バラ科  
キジカクシ科

峰岸立枝

## 里山との出会いに感謝

榎本 隆史

昨年7月末に世田谷区より家族4人(私、妻、子供7歳、5歳)で引っ越ししてきました。



お子様と共に、ジャガイモの植え付け作業

以前住んでいた地域でも小規模ですが野菜や果物の収穫ができる畑があり、家族で収穫体験をさせていただいておりました。その際に収穫した野菜や果物を食べ、「採れたての野菜、果物は食べやすく美味しい」と記憶しておりました。

お引っ越しをしてからご近所さんに生みだての卵が買える由木農場を教えて頂き、買いに行く道中で、野菜作りをしているのを見かけ興味を持ち、私たちも自分の手で『安心安全な美味しい野菜を作り、食べたい』と思い始めたのがきっかけで、『倉沢里山を愛する会』に入会しました。

また入会する際に里山のお手入れで、落ち葉掃きや、剪定作業、樹木の伐採などたくさんのお話をすると知り、これは是非体験したいと思い、また子供達にも幼少期に教えておきたいと思いました。

一昔前では当たり前のことだったのかもしれませんが、『食べる』までにする準備やお手入れなどを勉強し自分達で作物を作れるという環境は本当に素晴らしいと感じております。



家族そろって里山デビュー

私は便利な生活も非常に良いと思いますが、この食べるまでの過程が、『モノづくりの得意な日本人』につながるのかな?とも感じておりますので、



チェーンソーの見事な腕前

子供達にはしっかりと伝えていきたいと思っております。また私みたいに運動不足の人にもこの里山のお手入れや作物作りは最高の運動かと思っております。このご縁に感謝しご指導頂きながら活動していきたいと思っております。

## 里山に緑を守る思い

副会長 伊東晴雄

私達は「倉沢里山の緑豊かな自然環境」を保全するためのボランティア活動団体です。緑地の下草刈り、落葉掃き、萌芽更新等の樹木の整備をしています。しかし、緑地は毎年同じ姿を見せてくれません。風雨による樹木の倒木、また「ナラ枯れ病」のため多くの大木を失いました。緑地が



ジャガイモの植え付けをする副会長

樹木を失えば日照、気温の変化などにより下草の成長も種類も変わってきます。また、外来植物も多くなってきます。そのため、緑地の状況を常に把握し、苗木の確保、植林などの手だてをしなければ「緑豊かな自然環境」を保全することが難しくなっています。毎月の緑地保全のボランティア活動を行うにあたっては、緑地の事前調査、作業計画の作成、その後稀少植物保護活動、下草刈り等の活動内容を会員の皆様にメールでお知らせしています。

私は、日々の活動の中で時々「ボランティア」について考えることがあります。ボランティア活動が広まったきっかけは、「1995年阪神・淡路大震災」で全国から160万人を超える人が参加したことで、ボランティアに関心を持つようになった年であると言われています。しかし、善意の活動の中で「観光気分できた人」・「人から感謝される目的できた人」等の記述もあり、「なぜなの」との思いです。多くの人の中にはいろいろな考えの人が活動していることを知らされました。

私は、倉沢の里山の緑豊かな景観を残すため、当初から引き継がれてきました理念に基づき、そして、緑地の維持・管理作業を通して、何をすべきか考え活動をしていきたいと思っています。緑豊かな緑地・自然とのふれあいは人の心に安らぎを与えてくれます。これからも倉沢里山に「さわやかな緑の風が吹くように」心して、ボランティア活動をしていきたいと思っています。



新井さんがヒッコリーのテーブルに、ペンキを塗ってくださり明るい黄色に！第2緑地に設置してあります。ご活用下さい。



倉沢周辺の  
鳥たち

## ツミ

写真と文 杉本 研士

日本最小の猛禽類

初夏の「炭焼き小屋」の前の木立で、ようやく

出会いました！

画像の1枚だけを見ると、達磨さんのようにどっしりと大きく感じられますが…小柄なのです。スズメのように小さい鷹ということで、漢字では昔から「雀鷹」と書かれ、スズメタカというのがスミタカに、次第に短く詰まって、ススミ、スミなどとなり、何時の頃からか「ツミ」と呼ばれるようになりました。

オス・メスが違う種類かと思われるほどに違うことでも有名で、メスの方が大きくてキジバト大、眼の色(光彩)が黄色、胸にカーキ色の横縞。オスは何割も小さく、光彩が赤、胸がオレンジ色。ということで、ここに挙げてあるポートレートは堂々たる御婦人です。



ツミは小型であるだけに小回りが利き、小鳥(スズメ、シジュウカラ、メジロ、エナガ、カワラヒワなど)を主食としていますが、コウモリ、ネズミ、トカゲ、小型のヘビなどを

捕らえることがあり、バツタ、カマキリ、セミなどの昆虫も食べます。小柄なオスは殊に俊敏で、音もなく小鳥たちを襲撃します。

古く、鷹狩(放鷹)が盛んだったころには、メスのことを「ツミ」と呼び、オスのことを「エッサイ(悦哉)」と呼んで分けていたそうです。「悦哉」というのは「よろこばしいかな」という意味でしょうから、鷹を使う人にとっては、オスのツミはとりわけ仕込み甲斐があったとみえます。

そのはずです。ツミは小兵ながら気が強く、あの乱暴者のカラスにさえ向かってゆくことさえあるのです。鷹匠たちをたまらずわくわくさせたに違いありません。

冬鳥であるのが普通ですが、一部は留鳥となって本州に周年棲息します。このところ、ちょっとした公園や街路樹などでツミが子育てをしているのを見たという話を聞くことがありますが、大きく捉えると、残念ながら、数を減らしつつあると言わざるを得ません。

## ♡ いまのしあわせのひとつ ♡



斜面地で草刈りをする大鷲様ご一家

大鷲規江 日野の百草に住んでおります、大鷲と申します

どうぞ宜しくお願い致します。

今では成人した子供達が、まだ小さかった頃から山や川には良く遊びに行き(今でも行ってます)

が)できれば田

舎暮らしをと思い住む場所を探していた時期もありました。

田村さんにお声がけ頂き、里山の中を案内していただいた時にはその空気感に感動！で大好きな環境がこんな近くにあると知り、家族5人中4人が《倉沢里山を愛する会》に名前を入れて頂きました。孫ができたなら是非、貴重な遊びの場として連れてきたいなあとも思っております笑^ ^

今後、『アリスの丘ファーム』もお借りする予定で、プランターでの野菜作りから一歩前進したこれからの体験もとても楽しみです！

色々な活動を通して、今後必要な情報やアドバイスを検索するのではなく、生のお声で頂けることも素晴らしい事だと思います！

これから私達の得意な事が皆さまのお役に立つ時があると良いなあと思いつつ、宜しくお願い致します！

大鷲(オオワシ) Family

## 2/23(祝) 長久保緑地の萌芽更新を実施しました

3班に分かれて、それぞれ離れた場所で樹木の伐採がチェーンソー使用で行われ、ロープをかけて引いたり、力を合わせてコナラを次々12本を倒していきました。枝は切り離され、解体されていきます。マグロの解体ショーのようだと会員の方が言ったのには、全くその通りだ！と思いました。樹木は椎茸のほだ木やスウェーデントーチに使用。50名の参加者で、安全第一はもちろんのこと、皆様仕事が丁寧できびきびと作業しています。何と誇らしくて素晴らしい仲間達なのでしょう！伐採した樹木から今年新しい芽が出て、10年経てば、また伐採できる雑木林は究極のエコの象徴。繰り返し繰り返し利用できる里山は、輝く未来の姿です。事務局



井坪さんより萌芽更新の説明

## 多くの方の参加に感謝

1位	66回	大石様ご夫妻
2.	50回	直江様ご夫妻
3.	48回	神谷様ご夫妻
4.	48回	新井様ご夫妻
5.	44回	田村 はる子
6.	41回	本吉 隆志様
7.	33回	伊東 晴雄様
8.	31回	杉本隆様ご夫妻
9.	30回	椎塚かがり様
10.	28回	東谷 滋 様
11.	26回	築地ファミリー
12.	25回	秋元 征江様
13.	24回	吉田 嘉忠様
14.	23回	都留 千昭様
15.	21回	近藤秀樹ご夫妻

沢山のご協力に、感謝申し上げます。お陰様で、皆様一人一人の力の結集で、里山には緑の風が吹き渡っています。倉沢里山から、ほんのささやかな感謝の印、椎茸の植菌済棺木を、今回は15名の方に差し上げますので、どうぞお受け取り下さいませ。勿論スウェーデントーチでも構いません。

## 日帰り視察旅行のお知らせ

新たな学びの場として、楽しい視察旅行を計画しています。実施は11/16(木)か11/17(金)

行き先 トキタ種苗大根研究農場オープンデー  
おたかの森 会長の足立さんのお話を聞き、ちょこっとだけボランティア、くくりカフェで昼食  
倉沢の第一緑地駐車場よりバスでお出かけ  
昼食付で一人5000円程度(決定ではありません)

募集人数 37名

詳細発表、募集は8月以降の予定です。

この里山以外でも、楽しく学び、今後の里山保全活動の原動力になればと企画しています。人数に限りがありますが、

久々の視察旅行です。9/1号に詳細発表をしますので、ご覧いただき、どうぞ奮ってご参加下さい。



下見でおたかの森の足立さんより、お話を伺っているところ

## 1~3月の主な活動記録

- 1/6(金)日野市との協働作業 万蔵院台ナラ枯れ病のコナラ伐採 (27名)
- 1/19(木)植物保護・灌木剪定(13名)
- 1/21(土)落ち葉掃き 第一緑地、タラの丘 (58名)
- 1/28(土)キウイ、ブルーベリー、梅剪定 (33名)
- 2/1(水)植物保護、万蔵院台・竹林 (19名参加)
- 2/4(土)落ち葉掃き・万蔵院台 (43名参加)
- 2/9(木)日野市との協働作業・ひなた緑地ナラ枯れ病の大木伐採、竹林整備 (21名)
- 2/19(土)チェーンソーの手入れ・刃研ぎ (9名)
- 2/23(木・祝)長久保緑地、萌芽更新 (50名)
- 2/26(土)道路沿いの杭修理 (幹事のみ13名)
- 3/4(土)チェーンソーの手入れ、刃研ぎ (16名)
- 3/19(土)椎茸植菌、スウェーデントーチ作り (64名)

## 4月~6月の主な活動予定

- 各回の持物：バンダナ、手袋、スタンプ帳、飲料水
- 各回とも10:00 炭焼小屋広場集合 雨天時翌日  
(内容を変更する事や番外編あり。各回おやつあり)
- 4/15(土)活動報告・会計報告、刈払機の基礎講座  
外来種抜き
- 5/13(土)万蔵院台刈払機作業・第一緑地崖面手刈り
- 5/24(水) 第1、第2緑地、第2緑地北空地、アリスの丘  
周辺の刈り払い機作業・万蔵院台緑地崖面、バーソブ  
周辺手刈り
- 6/10(土) 長久保緑地刈払機作業、外来種・クズ除去、  
粗朶柵整備
- 6/21(水) タラの丘・北緑地刈払機作業、長久保緑地ク  
ズ除去、ブルーベリー畑除草・肥料
- 毎回の作業の数日前に植物保護作業、9時第2緑地集合。

## ☆☆☆☆☆ 事務局から ☆☆☆☆☆

☆粗朶柵に、家庭の生ごみが捨てられていました。ファーム内の自分の区画に埋めるのは構いませんが、粗朶柵に、家庭内の生ごみ持ち込みは禁止です。

☆2/21(火) 日野トラスト会議に、事務局の大石さん、田村が出席。日野のボランティア団体と話す機会があり、とても有意義でした。

☆3/11(土)に開催された「日野市雑木林ボランティア講座」の修了式に、副会長の伊東晴雄さんが参加しました。講座修了生の方々に、市内の雑木林管理等の活動をしている11団体が、活動目的、内容、活動場所等を紹介いたしました。当会で活動していただける人がいることを期待しています。また、他のボランティア団体の方と緑地管理、機器取扱い、安全について意見交換ができましたことは大きな収穫でした。

☆会員の水村さんが故郷の北海道に引っ越しすることになり、テーブルや脚立をご寄付頂きました。新井さんがテーブルに、ペンキを塗って下さいました。(P2の写真) 第2緑地に置いてあり、活躍中です。水村さん、今までありがとう!!